

# 「枚方は、私のたいせつなふるさとです」

もりしげ ひさや  
森繁 久彌さん

※市制施行60周年メッセージより

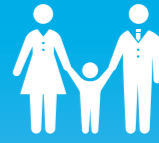


大正2年、現在の枚方上之町生まれ。枚方尋常小学校1年生まで枚方で過ごす。映画「社長」シリーズや舞台「屋根の上のヴァイオリン弾き」など昭和を代表する国民的俳優として活躍。昭和59年に枚方市名誉市民となる。平成3年に文化勲章を受章。平成21年死去（96歳）。同年に国民栄誉賞を受賞。



意賀美神社境内の石段に座り笑顔の森繁さん(昭和33年頃) △写真提供…眞先友宏さん

# 家族でお参り



初詣やお宮参りは家族みんなで出掛ける一大イベント。皆さんおめかししています。いつの時代も、家族の幸せや子どもたちの健やかな成長を願う場所ですね。



高野孝さん「次女7歳の七五三。百済王神社の旧境内で。左から2番目の祖母は10年前に亡くなりました。二人の孫を大変かわいがっていた祖母でした」(平成2年11月)



KAZUさん「意賀美神社で七五三」(昭和36年11月)



甲斐春佳さん「あなたよあなたよしあわせになれ 7歳」(平成26年11月、春日神社)



黒子ちゃん「小学校2年生の時に枚方に引っ越してきて以来、40年以上毎年欠かさずお正月は山田神社に初詣に行っています。この写真は小学5年生の時、母と。たぶん家族4人(父・兄)で行った時のものです」(昭和50年1月)

奈緒さん「祖父母と一緒に着物を着て初詣に行きました」(昭和55年1月、交野天神社)



KAZUさん「意賀美神社で宮参り」(昭和32年5月)



## 愛する街、心癒される故郷

かわさき まよ  
川崎 麻世さん

俳優・歌手。昭和52年デビュー以来、テレビや舞台などマルチに活躍を続ける。歌手デビュー40周年を迎えた今年、自身の作詞作曲による新曲リリース、舞台演出家デビューなど新たな展開を見せた。



## 枚方ゆかりの人

実家は枚方公園駅前「喫茶コハク」を経営している。今年60周年になる。そこから踏切を渡りしばらく歩くと「ひらかたパーク」が見えてくる。今は亡き祖父が、園内で「子ども自動車」というアトラクションを当時経営していた年中遊びに行っていた。その倉庫兼工場でオリジナル玩具を作ったり思い出は尽きない。そして娘が誕生した時には「意賀美神社」で家族揃ってお宮参りをした。私にとって枚方はまさに愛する街、心癒される故郷なのだ。



昭和44年頃、ひらかたパークの「子ども自動車」で(中央上)。



平成2年、家族揃って意賀美神社でお宮参り。